

大統領選挙後のアメリカと世界

東京大学大学院教授 藤原 帰一

- * ジョージア州の番狂わせ
- * トランプのオウンゴール
- * 権限を省庁に委ねる
- * 最優先はNATOの結束
- * 緊張高まる対中関係
- * ロシア、中東政策は逆転
- * 世界の不安定は長期化
- * 難問の北朝鮮問題
- * リベラルに関する混乱



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）
明けておめでとうございます。難しい状況でございますが、今年も、毎週元氣よくやっ
てまいりたいと思っておりますので、よろしく
お願いいたします。

本日は、毎年このところ恒例でございますが、
藤原先生に世界情勢についてお話をいただきま
す。特に、アメリカは大統領の就任を控えてお
りまして、まだたいへん騒ぎが続いているわけ
でございますが、これが収まってどういった方
向にこれから行くのか、それが特に中国との関
係や日本にとってどういうことになるのか。そ
の辺は皆さんもたいへん興味がおありだと思
いますので、今日はじっくりとお話を伺いた
いと思えます。

それでは藤原先生、よろしくお願いいたしま
す。（拍手）

ジョージア州の番狂わせ

藤原 皆様、明けておめでとうございま
す。このようにまたお話をする機会をいただき
ましたことをたいへん感謝申し上げます。

アメリカで大統領選挙が行われました。その
後の世界を考える、これが本日の課題なので
けれども、その前提となるポイントが、大統領
選挙は本当に終わったのかという課題です。選
挙が行われたのは昨年十一月ですが、既に一月
八日にもなりながら、やっと終わったかなとい
うところです。異常事態ですね。

大統領選挙そのものについては、トランプ・